

区議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会の傍聴は、どなたでもできます。傍聴を希望される方は、会議の当日、区議会事務局(区役所議会棟3階)で傍聴の手続きをしてください。

★受け付けは会議開会の1時間前、入場は30分前からになります。本会議は定員100人(ただし、椅子席は先着80人)、委員会は定員15人です。

★本会議場や委員会室への携帯電話の持ち込みは禁止となっています。お持ちの方は、事務局でお預かりします。

* * *

その他、傍聴についてのお問い合わせは、区議会事務局(電話3228-8870)まで。

女性

男女共同参画社会

篠議員 「男らしさ」や「女らしさ」を否定するという意味でジェンダーフリーという言葉を使っている人がいるが、内閣府からはジェンダーフリーという言葉は公文書では使わないよう指示が出ており、「ジェンダーフリー教育」に

いたっては論外である。男女が互いに違いを認め、それぞれの能力を十分発揮できる社会にしていくことが必要であると思うが、区長の考えは、答 男女の不平等は、歴史的、文化的につくられてきた性意識、性差といったものが大きな要因となっている。そうした考えから自由になった

答 補助制度の導入に際しては、関連事業を含め、検討を深めたい。昨今の地震情勢を踏まえ、平成16年度早々の運用開始を目指したい。

答 ①地区計画による道路の新設や拡幅、建築物不燃化助成などを行った結果、地区の不燃領域率が上昇した。今後は、道路や建築物への取り組みをさらに進めるほか、本年10月導入の新防火規制により、地区の防災性向上を図っていく。②地域で学習会の要望があれば、職員や専門家を派遣するなど支援していく。

きたごう議員 ①南台地区における防災まちづくり事業の成果や今後の目標は。②重点地区以外でも、防災まちづくりの学習会などを推進して

上で、男女お互いの違いを認め合い平等な機会をつくっていくことが、男女共同参画社会を推進する上で重要なことである。

DV被害者支援

はっとり議員 ①DVによる被害者が増加する傾向にあるが、相談者から被害の訴えがあった場合、ケガなどをしていないケースには、心の傷のケアも含めて医療機関との即

応した連携ある取り組みが必要ではないか。②関係機関による連絡会議の常設化の考えはないか。③DVについてさらに広く人々の意識に訴えることも必要ではないか。

答 ①必要が生じた場合には、医療機関との連携などを考えたい。②常設化した連絡会議ではなく、開催の継続的な実施で対応したい。③医療機関にチラシを配付するなどして啓発に努めている。

保健・福祉

食品安全委員会

飯島議員 食品安全委員会を早急に復活し、区民生活に密着した食の安全確保に取り組むべきだ。委員会の活動を通じ明らかにする課題こそ、基本計画の策定へ反映されなければならぬ。直接命にかかわる問題だ。来年度から実施する決意が欲しい。

答 消費者、事業者を含め、実践的な部分で安全確保に努めたい。基本構想の策定などを踏まえ、今後の食品安全委員会の役割を整理し、改めて立ち上げていきたい。

福祉サービス改善

江田議員 生業資金貸付実績が3年間連続0件、訪問理髪、寝具乾燥および自立支援型家事援助の各サービスの利用も年々減少しているが、その実態を把握したうえで、改善策を考えるべきではないか。

答 生業資金貸付について

環境・建設

清掃関連施設

篠議員 警察大学校等跡地に計画されていた焼却型の清掃工場は必要ないという結論が出た。今後、他の中間処理施設など清掃関連施設の建設の要望が出る可能性があると思うが、区長の見解は。

答 23区の清掃事業のあり方について、これから23区内で議論していかなくてはならない。清掃工場の立地がない区として、どういう役割を果たすべきか積極的に提案していくべきであると考えている。

野方駅北口改札口 **藤本議員** 野方駅北口改札口の問題に、区長は真摯に取り組むという決意を表明してきているが、いつぐらいを目途に解決するというプランを住民に示すべきではないか。

答 地権者の方が多い現場なので、いつまでにということを言うのは難しいが、早期に整備、改善すべきという認識は持っている。現在、改札口開設に向けて検討をしているところであり、早期に結論を出したい。

環境美化運動

藤本議員 ポイ捨て条例が制定されて4年になるが、行政の取り組みが足りないように思う。条例が生きたものとなるために、さらに進んだ条例をつくるか、あるいは行政が先頭になって、キャンペーン活動を行い、地域を巻き込んだ運動にしていくなどの取り組みをすべきではないか。

答 地域の方々の巻き込んだ形での運動を行う必要性は感じている。中野駅などで清掃活動をしている団体とも意見交換して、美化運動に発展させることができるかどうか検討していきたい。

奥田議員 ごみから資源を分別するのではなく、再資源化出来ないものだけを捨てるという逆転の発想が必要である。清掃工場を持たない中野区がリーダーシップを取り、焼却や埋立ての環境負荷を減らし、自治体が高い目標を掲げごみ減量に取り組む「ゼロ・ウェイ

放置自転車対策

昆議員 ①区内の放置台数は新中野駅が一番多い状況であるが、このたび高齢者などの移動円滑化に向け、エレベーター設置の計画が決まった。区もこれに併せ、事業者自らの責務として、駐輪場設置の検討を求めるときではないか。

答 ①引き続き、強力に要請していきたい。②利用料のあり方を研究したい。③利用率が少なく、料金が同一な駐輪場では試行的に実施したい。

電波障害対策

大内議員 ①区内の8・6%の世帯がまだにケーブルテレビに接続できない状況だが、その対策はどうなっているか。②サンプラザを区が取得した場合、これまでとは違った取り組みができるか。③今後、電波障害をいつまでに解決するつもりか。

答 ①既存の電波障害対策施設の設置者に対し設備移管の交渉を重ねているが、負担金や地上波デジタル化などの関係もあり進展が見られない状況である。②区出資の第3セクターがサンプラザを取得した場合には、電波障害対策の移管が必要と考える。③今後、地上波デジタル放送の動向や地域情報化推進なども勘案し、早期の移管を目指す。

妙正寺川取水口 **藤本議員** 環七の地下河川構想では、妙正寺川からの取水が計画されており、住民の協力も得ている。妙正寺川は依然として集中豪雨により、水があふれてくるような状況にある。区も東京都に取水口

答 ①区の直接整備と、都営住宅の空き家などを利用したストックを活用し、戸数を確保したい。②平成19年の早い時期に開設したい。

答 ①区の直接整備と、都営住宅の空き家などを利用したストックを活用し、戸数を確保したい。②平成19年の早い時期に開設したい。

答 ①区内の8・6%の世帯がまだにケーブルテレビに接続できない状況だが、その対策はどうなっているか。②サンプラザを区が取得した場合、これまでとは違った取り組みができるか。③今後、電波障害をいつまでに解決するつもりか。